

# 情報提供 ～ 河川整備計画の進捗状況 ～

令和6年11月18日

国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所、北上川ダム統合管理事務所

---

# 北上川水系河川整備計画の概要

---

# ◆北上川水系河川整備計画の基本的な考え方

## 計画の主旨 [平成24年策定、平成30年変更]

本計画は、河川法の三つの目的が総合的に達成できるよう、河川法第16条に基づき、平成18年11月に策定された「北上川水系河川整備基本方針」（平成24年11月変更）に沿って、河川法第16条の二に基づき、河川整備計画の目標及び実施する河川工事の目的、種類、場所等の具体的事項等を示す法定計画であり、平成24年に定め、平成30年に変更したものです。

### 【河川法の三つの目的】

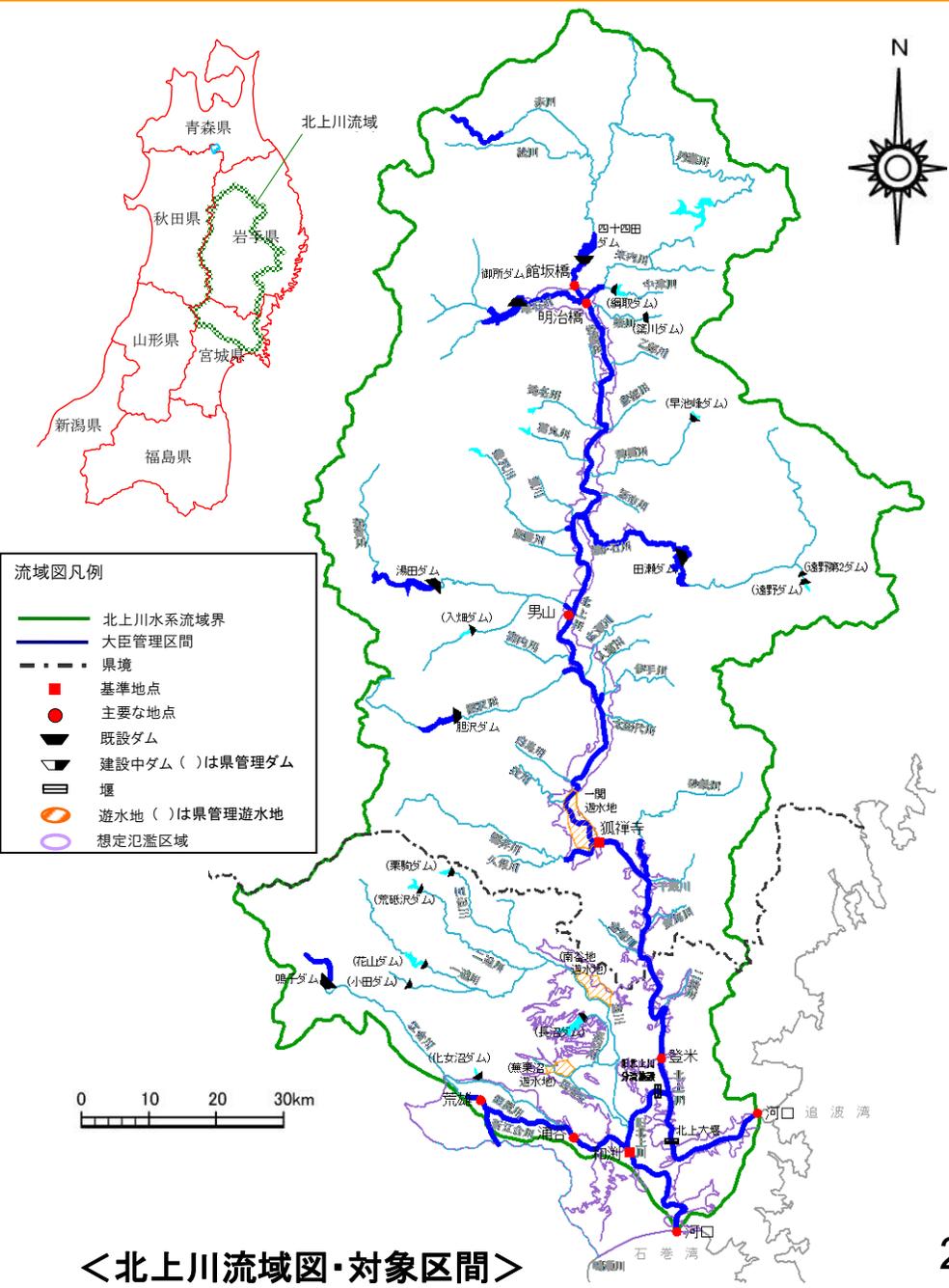
- 1) 災害の発生の防止又は軽減
- 2) 河川の適正な利用と流水の正常な機能の維持
- 3) 河川環境の整備と保全

## 計画の対象区間

本計画の対象区間は、国土交通省の管理区間（大臣管理区間）である429.24km（北上川、旧北上川、江合川、新江合川、砂鉄川、磐井川、猿ヶ石川、中津川、雫石川、その他支川を含む）を対象とします。

## 計画の対象期間

本整備計画の対象期間は、概ね30年間とします。  
 （平成24年度～令和21年度）  
 ※ 策定後の地域の社会情勢・自然環境・河川の整備状況等の変化や新たな知見・技術の進捗等に伴い、必要に応じて適宜計画の見直しを行います。



<北上川流域図・対象区間>

# ◆河川整備計画の目標

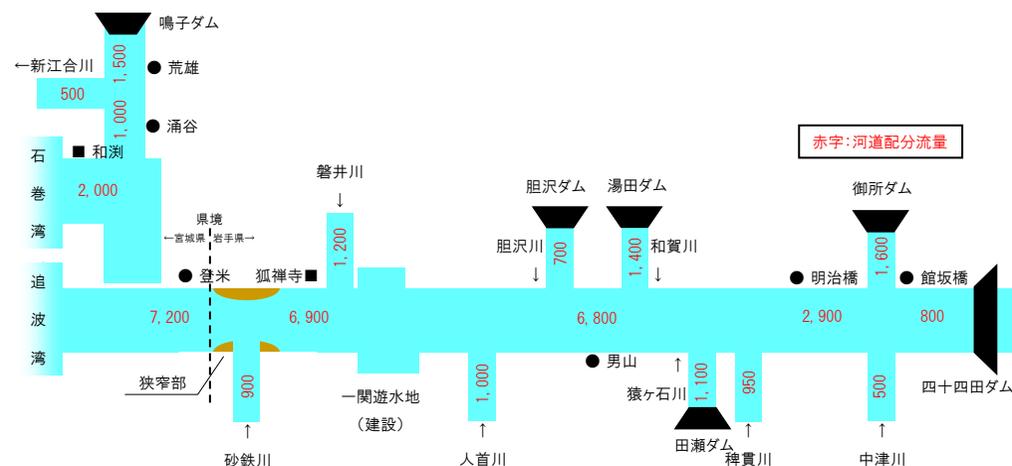
## 河川整備計画の目標

- 本計画で設定した治水、利水、環境及び維持管理それぞれの目標に向け、整備を実施します。

### 治水

#### ・戦後最大洪水と同規模の洪水への対応

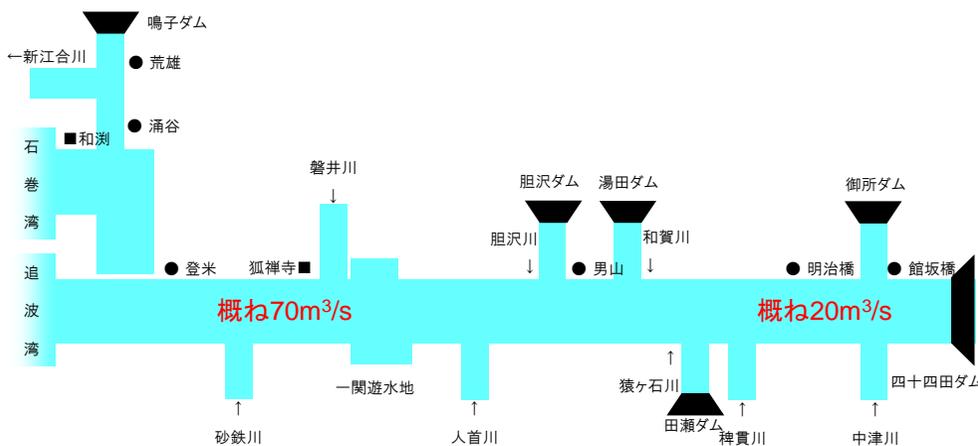
概ね30年間の河川整備により、戦後の代表洪水である昭和22年9月洪水と同規模の洪水による家屋の浸水被害を概ね回避するとともに、河口部においては高潮及び津波からの被害の防止又は軽減を図ることを目標とします。



### 利水

#### ・河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

概ね10年に1回程度起こりうる渇水時においても、北上川における動植物の生息・生育・繁殖環境の保全や良好な水質の確保のため、水資源開発施設の建設並びに既設ダム群の有効活用、関係機関と連携した水利用調整等により広域的かつ合理的な水利用の促進を図り、流水の正常な機能を維持するために必要な流量として、狐禅寺地点概ね70m³/s、明治橋地点概ね20m³/sの確保に努めます。



### 環境

#### ・河川環境の整備と保全

流域の自然的・社会的状況の変化や地域住民・沿川住民の要望などを踏まえ、環境管理計画の項目・内容の追加、変更、見直し等のフォローアップを行い、河川空間の整備・管理を適切に実施します。

また、河川水辺の国勢調査など各種環境情報データの蓄積に努め、具体的な環境管理目標設定のための環境指標の検討を行い、環境管理計画を河川空間管理のみならず河川環境全般にわたる内容となるよう充実を図ります。

### 維持管理

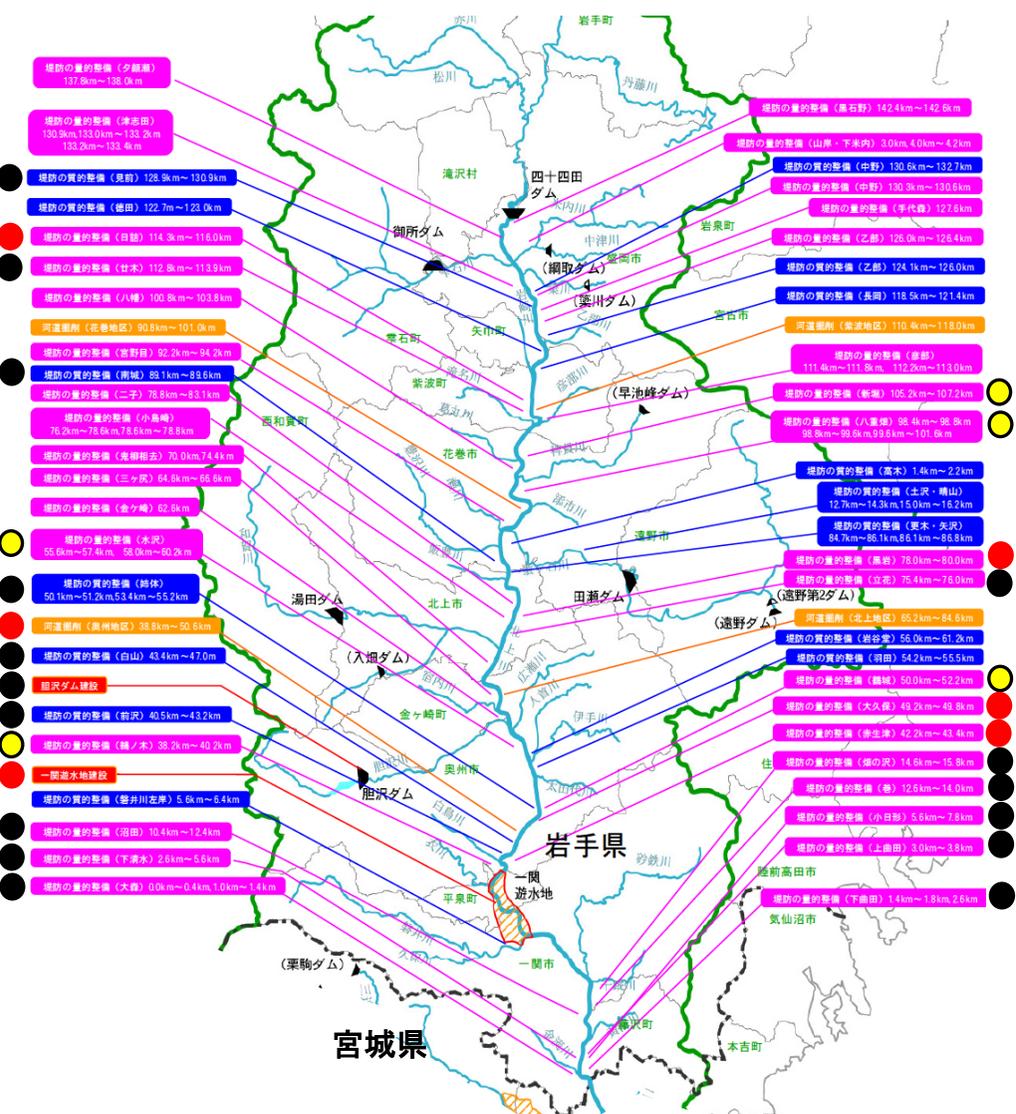
#### ・河川の維持管理

河道、河川空間、堤防、ダム及びその他の河川管理施設がその本来の機能を発揮できるよう良好な状態を持続させるためには適切な維持管理が必要です。このため、河川の状態を的確に把握するとともに、その状態を評価し、更にはその状態に応じた適切な管理を行うとともに、既存施設の信頼性の向上や有効利用、長寿命化等の改善を行い、「治水」、「利水」、「環境」の目的を達成するために必要となる機能を維持させていくことを目指します。

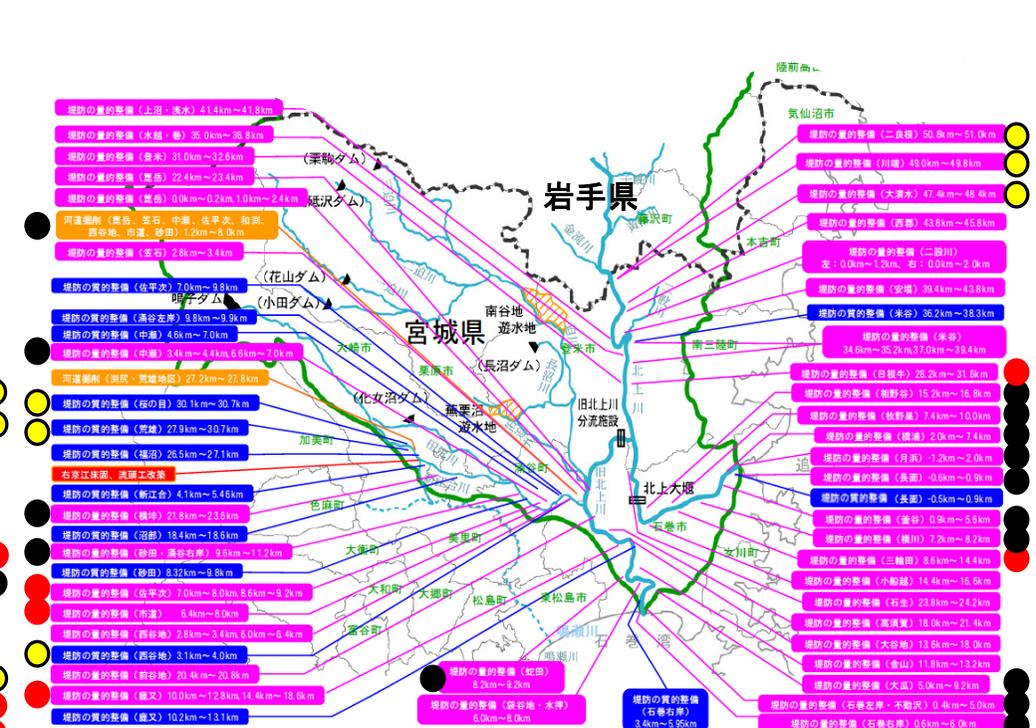
# ◆事業の進捗状況

## (1) 北上川直轄河川改修事業の進捗状況(令和5年度末時点)

### 整備箇所位置図(岩手県側)



### 整備箇所位置図(宮城県側)



● 整備完了	■ 堤防の量的整備
● 整備中	■ 堤防の質的整備
● 調査設計中	■ 河道掘削
	■ 一関遊水地、胆沢ダム、分派施設

---

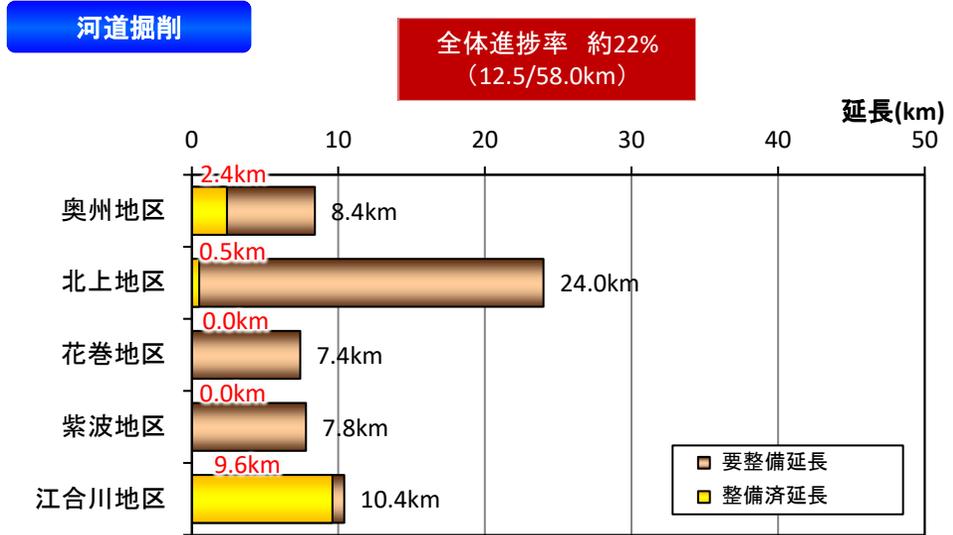
# 1. 北上川水系河川整備計画の進捗状況

---

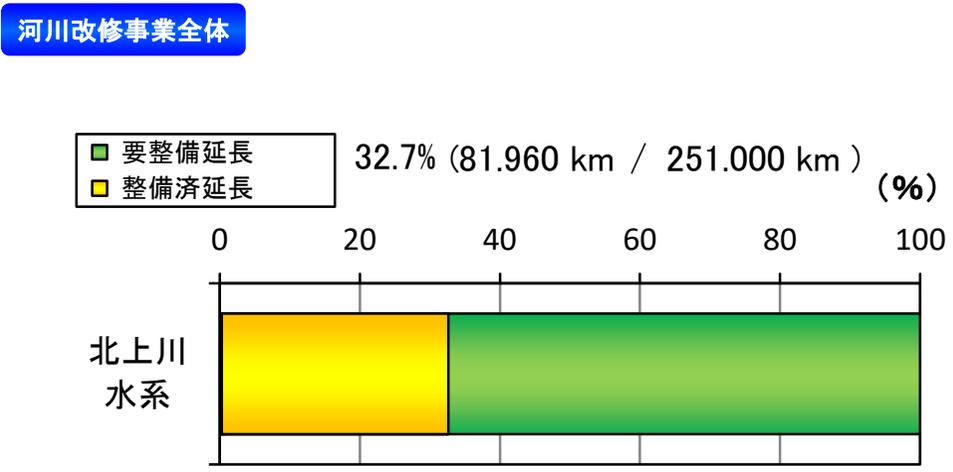
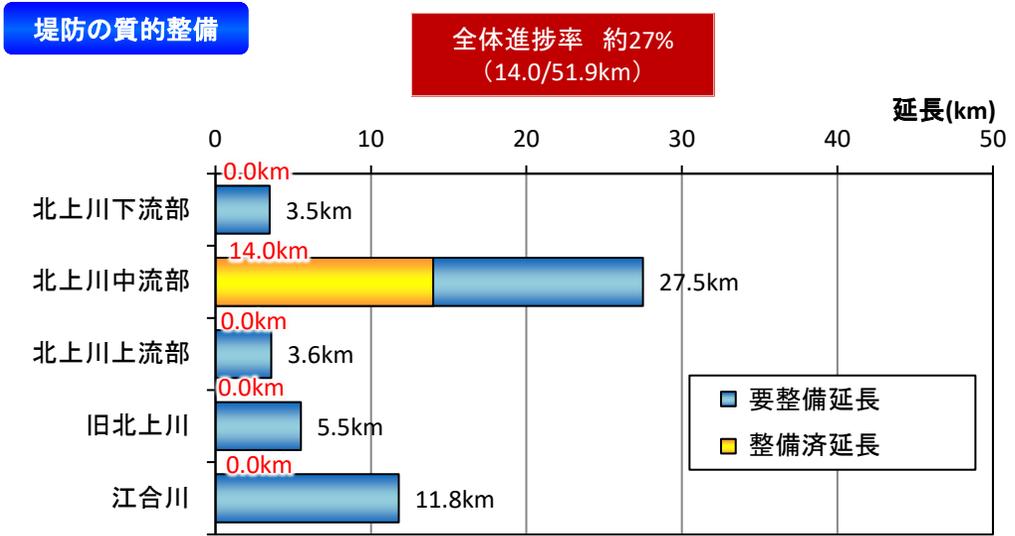
# ◆北上川水系の治水対策の進捗状況

## (1) 北上川直轄河川改修事業の進捗状況

・北上川水系河川整備計画策定(平成24年11月)から令和5年度末までの整備状況は以下のとおりとなっています。



※北上川下流部、北上川狭窄部、北上川上流部、旧北上川に掘削計画はありません。



※堤防量的整備、河道掘削、堤防の質的整備延長の合計に対する現在の整備延長

# 【治水】 ◆下流部における治水対策の進捗状況

## (1) 北上川直轄河川改修事業の進捗状況

・下流部においては、旧北上川の鹿又地区、北上川の日根牛地区及び三輪田地区の堤防の量的整備を実施しています。

位置図



日根牛地区:築堤の状況 (登米市)



鹿又地区 (旧北上川) : 築堤の状況 (石巻市)

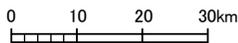


旧北上川河口部完成状況 (石巻市)

「東日本大震災復旧・復興事業 (H23~R3)」



三輪田地区:築堤の状況 (石巻市)



# 【治水】 ◆上流部における治水対策の進捗状況

## (1) 北上川直轄河川改修事業の進捗状況

・上流部(岩手県)においては、紫波町日詰地区の堤防の量的整備に加え、奥州市赤生津地区等において河道掘削を実施しています。

日詰地区：堤防整備の状況（紫波町）



位置図



彦部地区：河道掘削の状況（紫波町）



花巻地区：河道掘削の状況（花巻市）



白山地区：河道掘削の状況（奥州市）

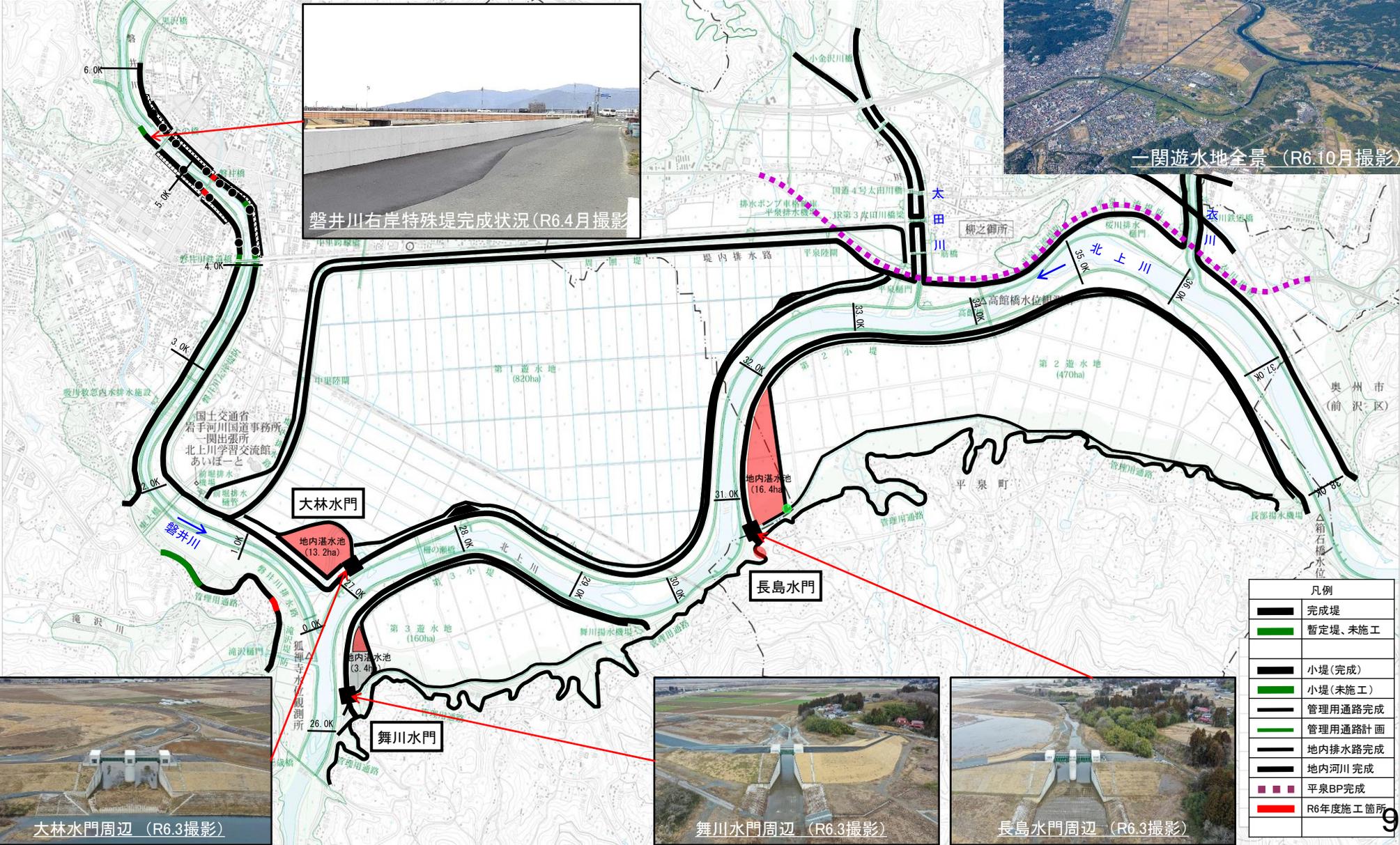


赤生津地区：河道掘削の状況（奥州市）



# 【治水】 ◆一関遊水地事業の進捗状況

- 一関遊水地事業は、昭和47年に事業着手し、事業費ベースで約87%の進捗率(令和6年3月時点)
- 現在、大林水門、長島水門及び舞川水門の周辺整備、支川磐井川の堤防改修等を実施

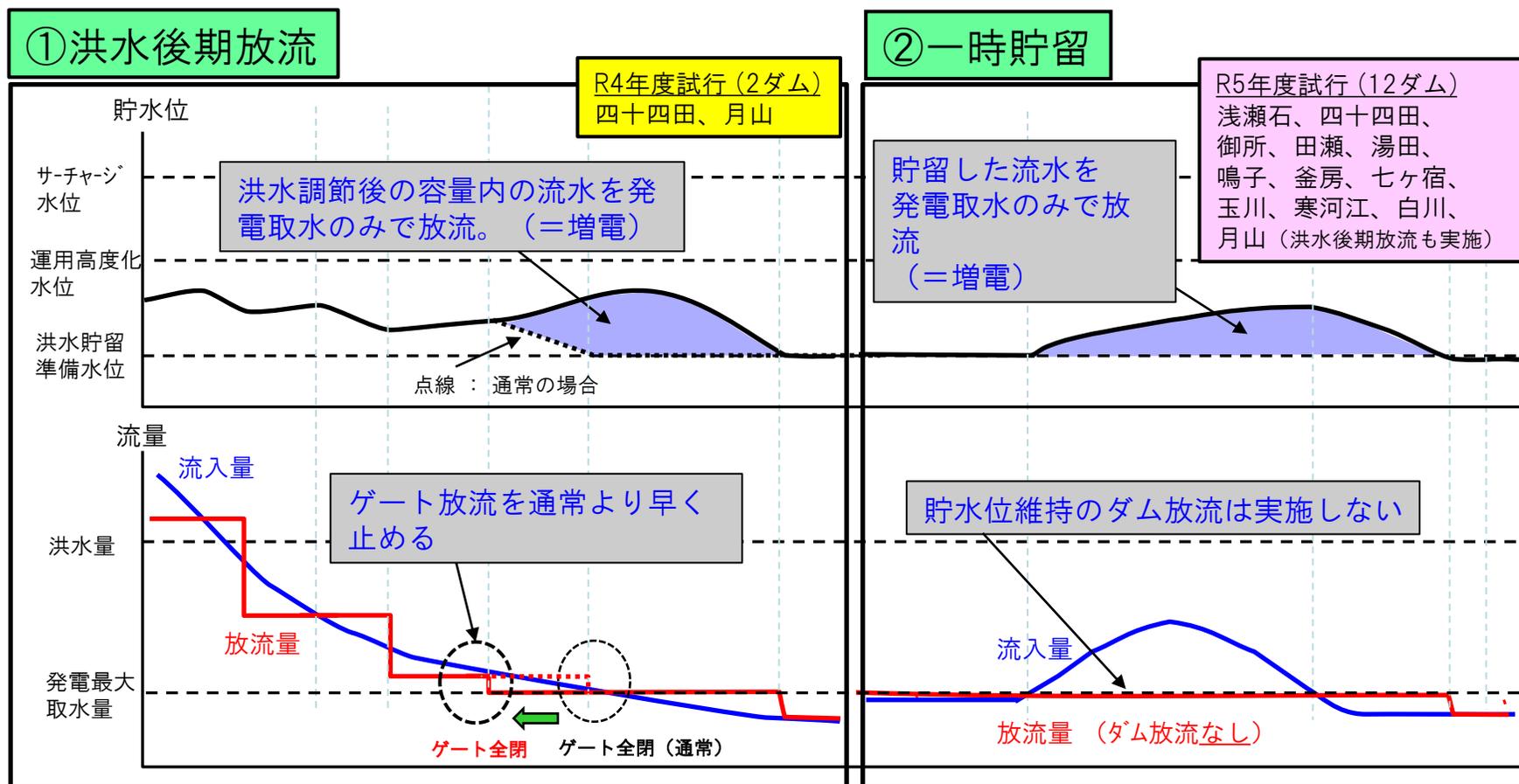


凡例	
	完成堤
	暫定堤、未施工
	小堤(完成)
	小堤(未施工)
	管理用通路完成
	管理用通路計画
	地内排水路完成
	地内河川完成
	平泉BP完成
	R6年度施工箇所

■運用高度化操作(増電に向けた取組)

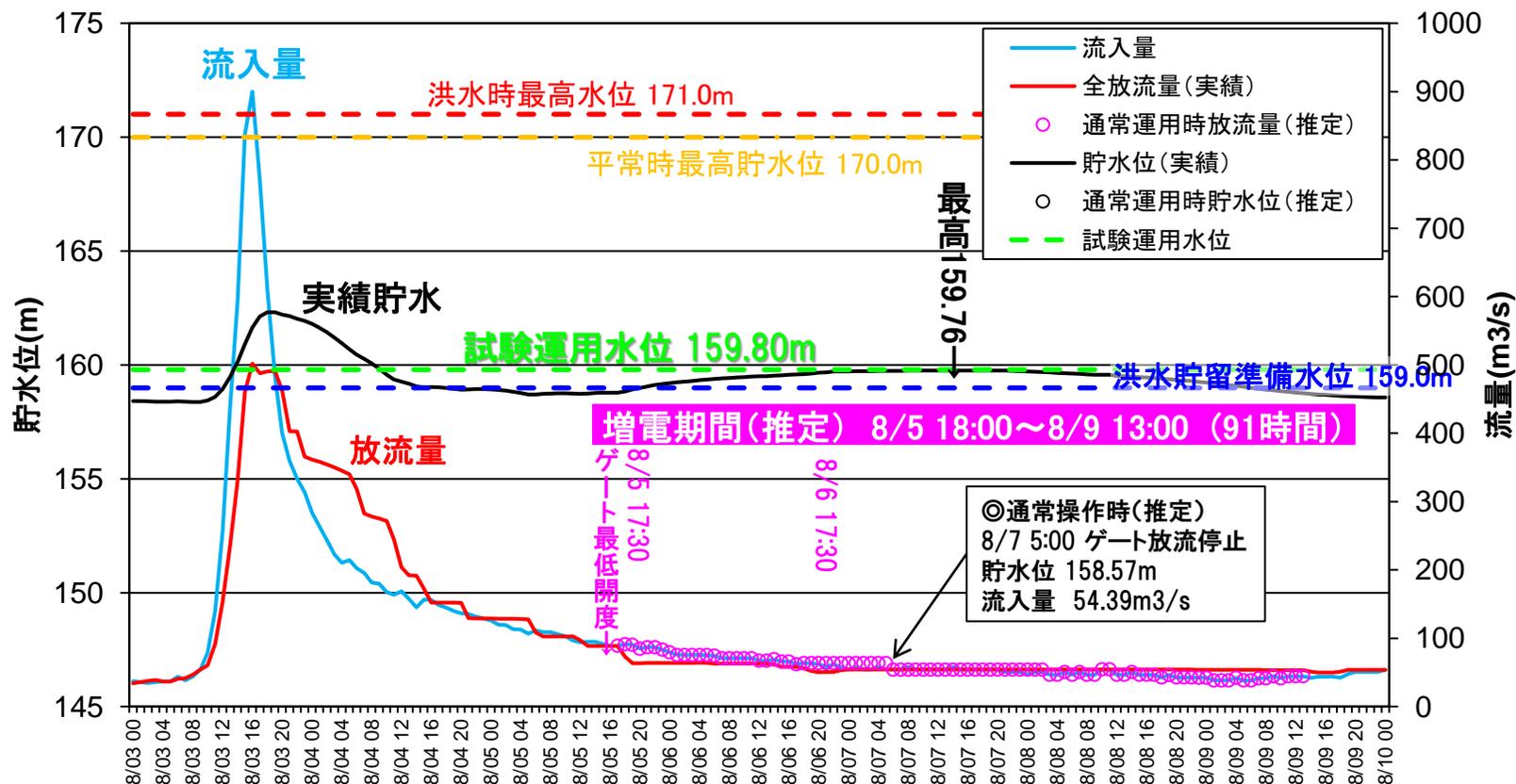
○ 洪水相当の降雨が見込まれない場合に限り、洪水調節容量に貯留された流水を、発電施設のみで取水・放流して貯水位を低下させる、増電に資する操作。

- ・ 洪水後期放流・・・洪水調節後に、貯留された流水を発電施設のみで取水・放流。
- ・ 一時貯留・・・洪水量に満たない流水を貯留し、発電施設のみで取水・放流。



## 【利水】 ◆四十四田ダム 洪水後期放流の活用（試行）

- 令和4年8月3日、前線に伴う降雨により、四十四田ダムにおいて最大流入量908m<sup>3</sup>/s（ダム完成後54年目で7番目）の洪水が発生しました。
- その後、まとまった降雨が見込まれないことから、洪水後期放流活用操作を実施しました。
- 予測を行いながら、8月5日にゲートを最小開度に絞り、8月6日にはゲートを全閉操作しました。この操作により、貯水位を76cm（運用幅80cm）、91時間上昇させ、増電に寄与しました。
- この結果、通常運用に比べ一般家庭約300世帯の1ヶ月の消費電力に相当する80Mwhの増電効果があったものと推定します。



# 【環境】 ◆河川環境の整備と保全（人と川の触れ合い）

○流域の市町村が連携し、地域性を活かした交流・連携による地域づくりを推進するため、「かわまちづくり支援制度」等による地域づくりと連携した環境整備を推進しています。

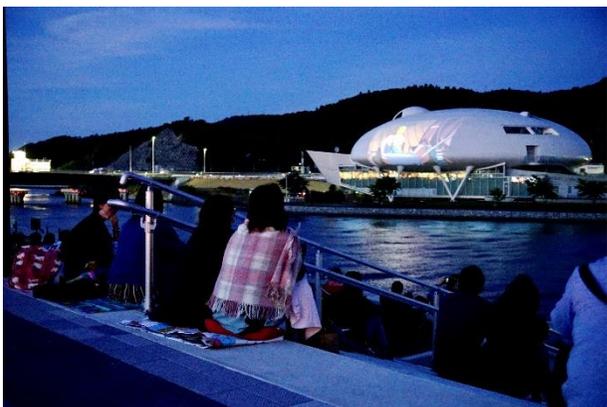
## ■石巻地区かわまちづくり

東北地方太平洋沖地震の津波により壊滅的な被害を受けたことをきっかけに、宮城県、石巻市と連携して堤防を整備。災害に強く安全に生活できる居住空間を構築するとともに、古くから川と共に生きてきた歴史ある水辺のまちを復興再生させ、市民の集いの場、憩いの場となる「かわ」と「まち」が一体となった賑わいのある水辺空間の創出を図っている。（令和4年度かわまち大賞受賞）



被災後(H24.6.23)

(R6.6.5撮影)



中州に整備された商業施設(石ノ森漫画館)の外壁を活用した“かわべでシアター”



石巻川開き祭  
孫兵衛船競走



堤防一体空間を活用した  
イベント開催

## ■盛岡地区かわまちづくり

盛岡市の中心市街地を流れる北上川・中津川周辺には歴史的建造物や史跡の文化遺産が多数存在している。盛岡市の「まちづくり」の取組やJR盛岡駅に隣接する木伏緑地の改修等と連携し、まちづくりと一体となった管理用階段・通路等の水辺整備により、賑わいのある水辺空間を創出するとともに地域の観光振興を図っている。（令和4年度かわまち大賞受賞）



盛岡地区かわまちづくり(木伏緑地)

## ■一関地区かわまちづくり

一関市街地を流れる磐井川において、一関遊水地事業や磐井川堤防改修と併せて、河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を図るとともに、今後、これらと一体的な「まち」と「かわ」を結び付けた新たな河川空間の創出と活用を推進するとともに、自然環境と調和した住み良い生活環境の整備や、市内外との交流・連携を強化することにより賑わいと活力のある中心市街地の形成を目指す。



一関地区かわまちづくり

# 【維持管理】 ◆樹木伐採等における取り組み

- 堤防の刈草や河道の伐採木等は、地域の方々への無償で利用いただくなど、処分費の縮減に努めています。
- 北上川水系においては、アレチウリ、オオハンゴンソウ等の特定外来生物が経年的に確認されており、維持工事等で随時駆除活動を行っています。

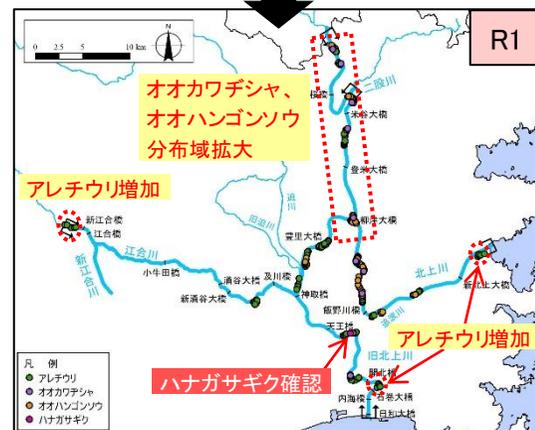
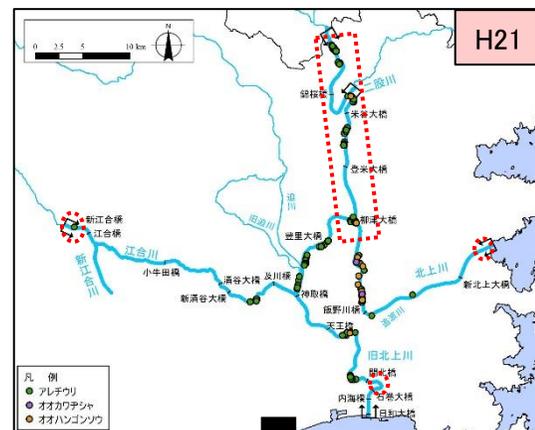
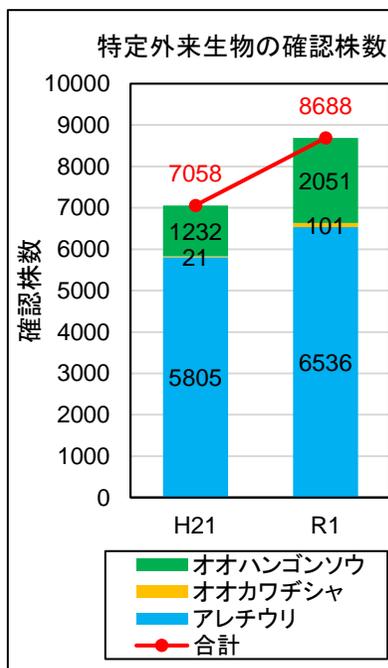
## 堤防刈草の無償提供

・一般畜産農家への無償提供により、資源の有効活用や環境負荷の軽減を図るなど、処分費の縮減に努めています。



## 特定外来生物の駆除活動

・アレチウリ、オオハンゴンソウ等の特定外来生物は経年的に確認され定着していると考えられ、今後の増加が懸念されることから、随時駆除活動等を行っています。



特定外来生物の確認位置